

建築人

2022
9

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-jin" No.699





建築人

2022.09 No.699

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「大丸心齋橋店本館」2020年

第65回 大阪建築コンクール大阪府知事賞部門大阪府知事賞 受賞作品
設計：日建設計・竹中工務店
施工：竹中工務店
撮影：ナカサ&パートナーズ(表紙)、竹中工務店*1

W.M.ヴォーリズ設計の旧本館の建替計画である。創建当初の姿を留める外壁の保存、内装の復原により歴史的価値を継承しつつ、新旧の対比と調和が織りなす新しい空間の創造により施設としての回遊性と魅力を高め、心齋橋地域に更なる賑わいを創出している。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「ヤマト自動車本社新社屋」

設計：東畑建築事務所
施工：藤木工務店

「石切回廊」

設計：近畿大学 建築学部+遊墨設計
施工：真正工業

「METAMORPHOSE」

設計：マニエラ建築設計事務所
施工：ヒロタ建設

7 創立70周年記念シンポジウム 特集

12 動静レポート

13 Topics

14 インフォメーション・事業案内

18 記憶の建築

「埼玉県立博物館」1971年

自然との調和を求めた環境造形の行方 / 松隈 洋

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

新型コロナウイルスの蔓延により、市民は日常生活に様々な制限を強いられてきた。現在も第7波が猛威を振っているが、これほどまでに人々が集うことを渴望されたことがあっただろうか。今回は、大阪市内を流れる道頓堀川を灯す「道頓堀川万灯祭」を取り上げる。

このイベントは、1999年に大阪青年会議所の呼びかけで、商店街や各種団体、個人が協力して始まったものだ。道頓堀川遊歩道の深里橋から日本橋までの間を、凡そ1300個の提灯で彩る夏の風物詩となっている。

昨年に引き続きクラウドファンディングも活用し開催された。今年は、多くの川沿いのお店も営業しており、ようやく大阪ミナミらしい風景をリパークルーズに乗船して楽しめるようになってきた。しかし閉鎖しているお店も散見され、この限界のかつての賑わいが戻ったとは言えないが、少しづつ形を変えて新たな賑わいをとり戻そうとしている。

祭りを通じて人々が集う。この平和を実感できる営みと灯は決して消えない。

建築人 No.699 2022年9月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：荻窪伸彦(編集人代表)

委員長：松下典央

編集人：飯田英二 梅田武宏 笠井志保 河合哲夫

茂籠一之 大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義

三谷勝章 武藤優哉 若江直生

事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

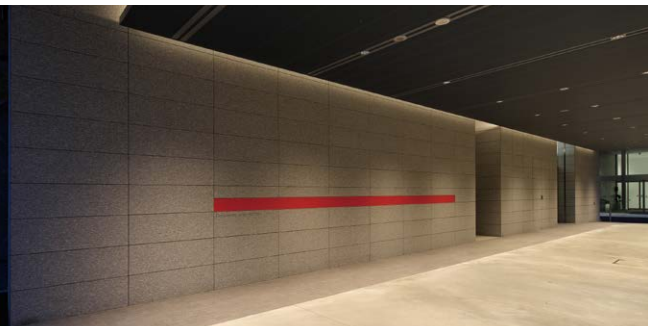
令和4年9月1日発行

発行人：会長/岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961



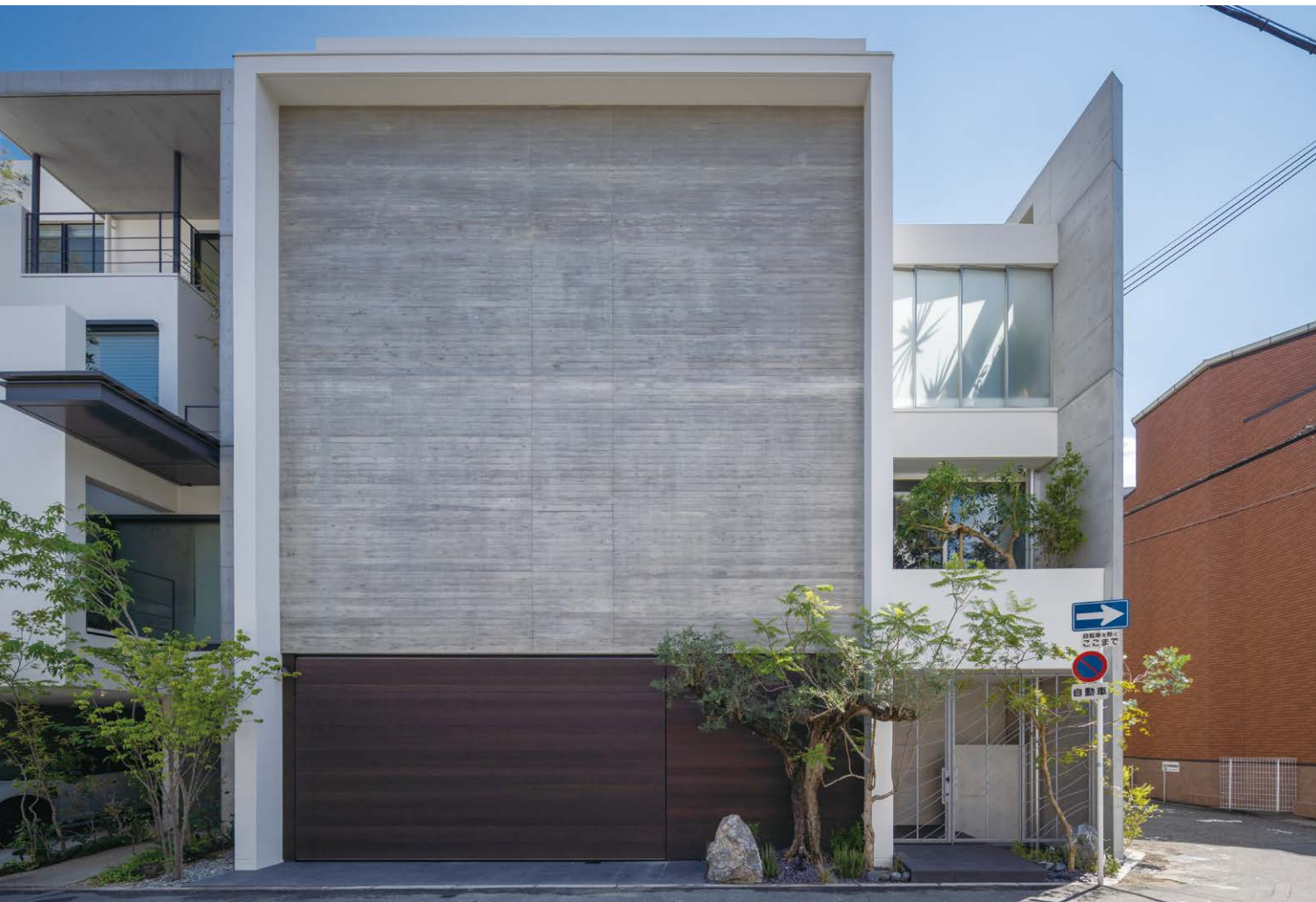
大阪に拠点を構えるオフィスの新社屋。社員モチベーションの向上と職務環境改善を目的とし、創業の地へシンボルとなる新社屋を建設したいとの依頼を受けた。JR神戸線・阪神高速池田線に面して視界が開けた南面を、4層の吹抜を内包する新本社のメインファサードとして計画した。堅動線をコンパクトにまとめることで実現した抜けのある整形な執務空間には、床しみ出し空調を取り入れ、社員に快適な職務環境を提供している。本社を貫く吹抜けは、書籍を手に社員同士が語らう階段を備える。木の温もりを感じられる交流ラウンジとして、また、来訪者を迎えるエントランスロビーとしても整備し、地域に開かれた新本社の顔として機能させている。

所在地：大阪市福島区
用途：事務所
竣工：2022.06
構造規模：鉄骨造
地上7階
敷地面積：511.19㎡
建築面積：400.49㎡
延床面積：2,510.75㎡
写真：酒井文明
(エスエス大阪)



東大阪市の石切劔箭神社前、石切参道商店街の起点に商業施設と集会所からなる地域活動拠点を新築した。商店街に面する幅に対して奥行きが深く、高低差2mの傾斜ある角地で、その特性を活かす計画とした。商店街の店並みを連続させ、敷地隅部に庭と芝生広場を配し、商店街と直行する奥行方向を正面とした。また、生駒山麓景観と商店街スケールに配慮し、建物を分節し、高さを変えながら連なる勾配屋根とした。石切回廊の名の通り、高低差ある内外を巡る回遊性が本施設を特徴づける。3年前に始動した本計画は、地域と共に地元の大学と建築士が企画・設計・運営に関わっており、地域のひろばとして、安らぎと活動の場となることが期待される。

所在地：大阪府東大阪市
 用途：商業施設
 +集会所
 竣工：2022.06
 構造規模：木造
 地上2階建
 敷地面積：899.74㎡
 建築面積：558.08㎡
 延床面積：644.12㎡
 写真：野口兼史



計画地は、北と西が道路に面し、残り二方は隣地住宅に囲まれていた。そのため、人の視線や騒音を避けるため四方は壁で取り囲み、極力開口部を抑えながら、3層吹抜や壁スリットから自然光の入る快適な内部空間へと変貌するよう計画した。ファサードは、壁としつつも周囲への圧迫感を和らげるため杉板型枠コンクリート打放し仕上げとし、そら植物園西島氏によって配された樹齢200年の古代オリーブを中心に特徴的な木々が重なり合い、街並みに新たな潤いを与えている。内部空間は都市型のプライバシーに配慮した外観から一転、LDKとテラス・プールが一体的につながった開放的な空間が広がり、周囲から独立したプライベートな家族だけのアーバンリゾート空間が広がる。

所在地：大阪府
用途：専用住宅
竣工：2022.08
構造設計：うきょう建築
構造事務所
構造規模：RC造 4階建
敷地面積：198.53㎡
建築面積：143.09㎡
延床面積：358.06㎡
写真：下村写真事務所

特集 創立70周年記念シンポジウム

水都大阪の未来を拓く 在宅福祉と ウォーターフロントの革新

2025年の大阪・関西万博を迎えるにあたり、大阪の未来を考える契機としてシンポジウムが開催されました。

<1部>

建築士が住宅建築に関わっていく中で、機能性に加えて居心地等を重視した福祉施設の在り方を考え、これからの在宅福祉と建築の連携を考える。

<2部>

大阪は淀川河川敷やまちなかの水辺空間などの整備が進行する中、水運など水辺の利用に関するウォーターフロント活用の変革を考える。

【日時】

2022年7月1日(金) 建築士の日

10:00~17:00

【会場】

大阪工業大学梅田キャンパス

OIT 梅田タワー常翔ホール

主催 公益社団法人 大阪府建築士会

10:00~10:10 主催者挨拶

岡本 森廣 公益社団法人大阪府建築士会 会長

70th
anniversary of
foundation 2022

10:10~12:00 <1部>「これからの住まいと福祉」



二井 清治 株式会社二井清治建築研究所 代表取締役

1946年滋賀県生まれ、建築を独学。1974年坂倉建築研究所に入所。西沢文隆に師事、1987年二井清治建築研究所を設立、1991~1994年財団法人大阪府地域福祉推進財団 高齢者住宅専門相談員、1992~1993年府民の高齢者介護に関する調査検討委員会委員、2006~2009年社団法人日本建築家協会近畿支部副支部長。一級建築士。



二井 るり子 有限会社ブラネットワーク 代表取締役

1957年愛媛県生まれ、1979年奈良女子大学家政学部住居学科卒業、1982年大阪府に行政職として入る、1992年大阪府を退職、ブラネットワークを設立、2013年奈良女子大学で博士号(生活環境学)取得、福祉住環境コーディネーター1級。



コーディネーター

寺地 洋之 大阪工業大学 教授

1965年岐阜県生まれ、1987年大阪工業大学建築学科卒業、1987年内井昭蔵建築事務所入所。1993年大阪工業大学助手任用、准教授などを経て現在に至る。2004年カリフォルニア大学バークレー校の客員研究員及びSanley Saitowitz officeと協働。2012年より川上村木匠塾塾長。一級建築士。

13:00~17:00 <2部>「ウォーターフロント活用の可能性とその意義」

基調講演 13:00~14:30



陣内 秀信 法政大学 特任教授

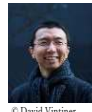
東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学。専門はイタリア建築史・都市史。地中海学会会長、都市史学会会長を歴任。中央区立郷土天文館館長、国交省都市景観大賞審査委員長 他。

14:50~16:50 パネルディスカッション



前田 昌則 大阪市北区長

昭和60年大阪工業大学大学院工学研究科建築学専攻都市計画学修了、昭和60年パナソニックホームズ(株)入社、平成20年パナソニックホームズ不動産(株)中部近畿統括部部長、平成27年パナソニックホームズ不動産(株)営業企画部部長兼パナソニックホームズ・合人社コミュニティ(株)取締役、平成28年大阪市此花区長、令和2年大阪市北区長。



藤本 壮介 株式会社藤本壮介建築設計事務所 代表取締役

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2020年、2025日本国際博覧会の協会事務局会場デザインプロデューサーに就任。



堀 感治 株式会社One Osaka ループバス推進機構 理事長/

株式会社関西インバウンド事業推進協議会(ワンダーグループ) 代表取締役社長

国内外の方に大阪を最大限楽しんで頂ける関西No.1の着地型観光のリーディングカンパニーを目指す。大阪ワンダーループバス、大阪ワンダークルーズ、グランピング船メリーグリーン、レストランクルーズ パーティ、道頓堀リバーサイドグリル ワンダー運営。



杉本 容子 一般社団法人水辺ラボ 代表理事/株式会社ワイキューブラボ 代表取締役

工学博士/一級小型船舶操縦士/国内旅程管理主任者 大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士前期課程修了 杜の都仙台生まれ、白砂青松湘南育ち、水都大阪に生きるまちづくり好き。水辺や公園などパブリックスペースを活かしたまちづくり、市民とともに考え実践するビジョンづくりなどを中心に活動を展開。



コーディネーター

高原 浩之 株式会社HTA デザイン事務所 代表取締役/

公益社団法人大阪府建築士会 記念行事委員会 委員長

16:50~17:00 閉会挨拶

徳岡 浩二 公益社団法人大阪府建築士会 記念行事部門長



協賛企業出展ブース風景



講演会風景



大阪工業大学100年 飛翔のキセキ展が開催されていました。(OIT梅田タワー1階)

水都大阪の未来を拓く 在宅福祉とウォーターフロントの革新

2022年7月1日(金)『建築士の日』

会場) 大阪工業大学梅田キャンパス OIT梅田タワー常翔ホール

1950年7月1日「建築士法」が施行され、地域社会の健全な発展と安全で快適な暮らしを提供するために欠かせない建築士の質と地位を向上、および建築士の社会的な意義を広くPRすることを目的に、1952年設立された日本建築士会連合会は7月1日を『建築士の日』と制定した。2022年に創立70周年を迎えた大阪府建築士会は、この日に「水都大阪の未来を拓く 在宅福祉とウォーターフロントの革新」をテーマに記念シンポジウムを開催。

開会の挨拶で岡本森廣会長は関係者の方々によって70周年を迎えることができたことと感謝の意を表し「本日のシンポジウムのテーマの一つに“在宅福祉”がありますが人生120年時代といわれる現代では避けては通れない課題で、われわれ建築士にとって重要なテーマです。本会や会員の方々が社会に役立つ、信頼される存在であり続けなければならないことを意識しながら、これからも本会の運営に携わっていく所存です」と述べた。



開会挨拶をする岡本森廣 会長

<1部> これからの住まいと福祉



コーディネーター・寺地洋之 氏



二井るり子 氏

二井清治 氏

講演「これからの住まいと福祉」

二井清治

1. 住まいの目指すところ

— 美しく居心地が良い

住まいが美しく居心地が良いと、住む人の生きる力、自立する気持ちを高めます。それらを実現するには5つのポイントがあると考えます。

①人に寄り添う建築

私がいた坂倉建築研究所の坂倉準三氏は「生活する人のために住宅はある」と常に言っていました。その師匠ル・コルビュジエも「住まいを中心に、一人の人間の視点で建築も都市もみていくべきものだ」と言っており、私もその思想を引き継いでいます。

②風土に根ざす

近代建築は日本の風土となかなか相容れない部分がありますが、私は日本で培われてきた伝統や形は必然的にできてきたものですから、敬意を持って接し、風土に根ざした建築を考えるようにしています。

③遮蔽しながら透かす

日本の気候は蒸し暑いので、できるだけ透けた空間で、庭と家が一体となって風がサラサラと吹

き抜けるような建築が、日本の風土には適しており、遮蔽しながら透けた空間が良いと思います。

④陰翳の空間

奈良や京都の古い大きな民家には暗い場所へ日が差し込んで光の躍動と闇の静けさを感じる精神性の高い空間があります。建築は100～200年建ち続けますが、その魅力は素材ではなく陰翳の空間にあると考えます。

⑤使う人に見合ったプロポーション

住まいはさまざまな年代の人が使いますから、その人に合ったプロポーション「暗いところ、明るいところ」、「高いところ、低いところ」、「広いところ、狭いところ」のバランスが居心地の良さを決める要因だと思います。

2. 高齢者と住まい — 高齢者への配慮

1991年から4年間、高齢者住宅専門相談員を務めました。その時に高齢者の特性をよく理解して、いつまでも快適に住み続けられる家を設計することはとても重要だと感じました。

日本の住まいの問題点は湿度が高いので1階の床が高く、床板と畳の間にも4～5cmくらいの段差があります。また芯々91cmモジュールで建てられていることが多く、現代の生活環境としては各部分が狭くできています。住まいを改修することにより、排泄と入浴ができるようにな

ると、自立心を高めることができ、何よりも介助者の労働が軽減されます。自分は我慢できると言われる方もいらっしゃいますが、ご本人のためだけでなく介助者のために改修した方がよいですよという話はよくさせていただきました。

高齢者は、身体の抵抗力、感覚機能(視覚・聴覚)、生理機能が低下します。家に閉じ籠り自立心が湧き起らないという心理機能の低下もあります。生活環境の変化で家族が独立したり、独居老人状態になるといった状況を個別に理解することが大切です。

3. 住居の近未来像

— 社会の接点となる空間

1992年に雑誌『建築文化』の特集「クリエイティブミズが住まいを変える」に参加しました。主婦も働く時代になり、生活スタイルの変化に今までの住まいでは対応できないということで松下電工株式会社アンケートをとり、それに基づいて建築家(伊東豊雄氏、妹島和世氏、隈研吾氏、黒沢隆氏、飯村和道氏と私6名)が提案した住居空間を社会学者の上野千鶴子氏が評価するというものでした。その時に私は「フォーマルな家族スペース」というのを提案しました(図1)。

家族スペースをフォーマルとファミリーに分

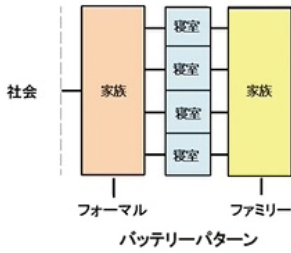


図1 フォーマルな家族スペースの提案

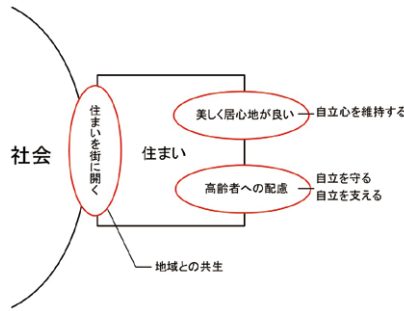


図2 3つのポイントをもった住まい

| タイプ | 特徴 | 空間配列 | 形態 |
|-----|------------------------------|------|------------------|
| LD型 | LDを中心として居室がつながる 玄関はLDに入る | | 小舎 ユニット 中舎 |
| 廊下型 | 廊下によって各室が並列につながる 玄関は廊下に入る | | 中舎 大舎 |

図3 LD型と廊下型に分類

け寝室を挟むバッテリー型のパターンです。勉強したり、自宅をオフィスにしたい時はフォーマルスペースを使い、ファミリースペースはくつろぐだけの場所にするという使い分けです。このフォーマルな家族スペースを社会との接点に設けることで社会や家族の変化に対応できる住まいになると考えています。

4. これからの住まい

— 住まいを街に開く

高齢化と家族の住まい方の変化により、地域との接点が薄れ、独居老人や二人だけの高齢家族になると社会に出ることがなくなり、生きる力が薄れてきます。また、メディアネットワークが普及し、自宅で仕事をする時代になってきました。通勤することがなくなり、社会そのものを見る目も意識も薄れるという虚構社会に近い状態になってきています。これからは住まいを街に開くことにより人と人、住まいと街が触れ合い、ともに生きる社会を築いていくことが重要で「美しく居心地が良い」、「高齢者への配慮」、「住まいを街に開く」この3つのポイントを持っている住まいが一番よいのではないかと考えるに行き着きました(図2)。

講演「福祉施設の在り方 —地域との共生を目指して」二井るり子

1. 福祉施設の設計と、どう向き合ってきたか

1990年代の初めに大阪府を退職し専業主婦をしていましたが、たまたま認知症の高齢者が入院する病棟を見学する機会がありました。その頃はまだ認知症という言葉もなく、閉鎖的でガラとした部屋に大勢の高齢者がたたずんでいる光景を目の当たりにし、同じ日本で住宅建築を思い入れて設計している一方で、認知症の高齢者は貧しい環境に追いやられているという状況に大きなショックを受けました。建築設計を通じてもっと社会に貢献できることがあるのではないかといい、一級建築士の夫と、私は福祉コンサルタントという立場で、共に協力しながら地域の中に開かれた居心地のいい福祉施設を作っていこうとスタートしました。日本医療福祉建築協会に入会し、国内外の先進事例

を視察し、最新の研究を学びました。研究者と設計者が医療福祉建築の質の向上を目指す協会では教わるが多く、私たちも新しい施設の在り方を模索しました。

2. 子どもの施設の設計

最近虐待問題で注目されていますが、一番遅れていたのが児童養護施設、乳児院でした。2004年に社会福祉協議会の「児童養護施設等の望ましいあり方に関する調査研究委員会」に参加し施設の方々と一緒に勉強をしました。国内外の施設を見てまわって児童養護施設にはLD型と廊下型があるというのがわかり(図3)、LDを中心に緩やかに部屋がつながり、住宅としての質を持った施設を提案していきました。子ども達を育てていく施設なのでいろいろな配慮が必要で、守られた空間で自由に伸び伸びと遊べ、子どもを「守りつつ地域に開く」施設を意識するようになりました。

まとめ —講演後の質疑

寺地(洋之) ご講演を拝聴し「守りつつ開く」というのがキーワードだと思いました。また、設計されている内容で際立っているのは、開口部のデザインの精度の高さです。建具のパターンが何種類もあって、時間をかけられているなという感想を持ちました。

二井(清治) 建具は手に触れる一番身近なもので家具と同じように丁寧に作ります。設計のときは、大体の仕様を決めておき、全部現場で原寸で考えます。

寺地(洋之) 私もそうですが、手描きで図面を描いていて原寸でチェックするのはわりと身に付いていますが、最近の若い人達はCADから入るので、なかなか原寸的な発想がないと思います。毎回現場で原寸で描くというのは、かなりの労力で大変感服いたします。また、高齢者施設や福祉施設の手すりのデザインは重要ですが、さりげなく目立たないけどちゃんと手が届くところがあり、きっちり設計されていますが何かコツみたいなものはありますか？

二井(清治) 手すりを考えていくと、それは手すりではなくて支えるものがあればいいとか、上から押さえるだけでいいとか、いろんな場所によ

って使い勝手が変わってきます。そこをどれくらい丁寧に、使い方を想定してデザインするかということは、非常に大事だと思いますので、可能な限り時間をかけてデザインしています。

寺地(洋之) りり子さんは、大阪府の勤務を経て専門の協会や委員会、視察などで勉強されながら専門性を高めていらっしゃいます。今イギリスでは子どもの意見を聞いて設計するというスタンスがありますが、子どもにヒヤリングとかされているのでしょうか？

二井(るり子) 私は行動観察をしてきました。設計する前に一度泊って子どもや職員さんの動きを観察するのが重要だと考えます。

寺地(洋之) お二人はプライベートでも仕事上でもパートナーで、上手く協働されていますが、上手くいく秘訣はありますか？

二井(清治) 建築家は条件を言われると解決できる能力はあるのですが、福祉施設は聞き取る内容が難しいので、彼女に聞き取りを担ってもらっていて、パートナーとしては良い関係だと思います。

二井(るり子) コンサルタントは一人では建物を作ることができません。一緒に仕事をするので、より良い仕事ができると思っています。

寺地(洋之) 作品には和のデザインが随所に取り入れていらっしゃいます。うまく取り入れるコツはありますか？

二井(清治) 本とか作品をみてもなかなか身に付きません。和風に非常に興味があるのが原点にあり、月に2回は奈良や京都へ行って民家やお茶室、神社や仏像をみています。見続けるということが大事だと思います。

寺地(洋之) 本日は、貴重なお話と作品の写真をを見せていただきながら、「守りつつ開く」という建築のあり様を住宅と福祉でお話しくださしまして、誠にありがとうございました。



1部シンポジウム

<2部> ウォーターフロント活用の可能性とその意義

基調講演「港町、港湾都市、そして新たな水都へ」

陣内秀信

建築史家でイタリア建築や都市史を主な研究領域とし、世界中の港町、港湾都市の研究や、日本における水辺の活用方法など、水の都市として再生させるための取り組みも行っている陣内秀信氏からは、世界の港町、港湾都市の歴史と現状、大阪の水都としての未来展望を研究者の視点から基調講演が行われた。

はじめに、世界の水辺にある都市づくりの事例や港湾空間変遷のメカニズム、ウォーターフロントが生まれる背景などを解説。ヴェネツィア、アムステルダム、ハンブルク、ロンドン、ニューヨーク、ボストン、東京、横浜、ビルバオ（スペイン）、オスロ、マルセイユ、ベルゲン（ノルウェー）、トラーニ（イタリア）、上海、シドニーなどの都市が紹介された。

ウォーターフロントの開発・再生の変化にも触れ、70～90年代は話題作りで商業・観光施設だったものが、最近は公的なコモンズや文化施設、スポーツ施設などを中心とした港湾都市計画が成功する傾向にあると述べ

た。また水上交通と陸上交通の連携の重要性や、水に伴うテリトリーオという概念（都市や町のみならず、土地・水・空などの地理的空間、さらには、政治、経済、社会の圏域をも包み込む包括的概念）もこれからは重要であると説明した。

大阪については、東京に比べ官民連携ができていたり市民の水都に対する強い思いがありこれから益々発展する可能性を述べ、今後は瀬戸内テリトリーオの視点から見ると大阪はもっとも重要な都市なので、大阪だけにとどまらず、広域に発展することを願うと講演を締めくくった。



基調講演を行う陣内秀信氏

パネルディスカッション

コーディネーター 高原浩之

はじめに高原浩之氏より、大阪府建築士会のおおさかウォーターフロント活性化提言書策定委員会が、在阪建築四団体の『ARCHI 4 KANSAI 提言書』(2019年)をもとに作成した「持続可能なウォーターフロント活性化提言」について、ウォーターフロントを取り巻く状況の分析や具体的なプロジェクトに繋がる提案、これらの事業実現に向けた仕組みづくり・規制改革・環境整備に関する発表があった。

続いて、現在大阪のウォーターフロントにおいてさまざまな活動をしている4人のパネリストの活動内容を発表していただき、30年後の“水都大阪”の姿や、大阪の水辺は持続可能という面からどうあるべきかなどのセッションが行われた。ここでは、それぞれの取り組みについて紹介する。



パネルディスカッション

2025年大阪・関西万博会場デザインについて

パネリスト 藤本壮介

夢洲は大阪市内の臨海部につくられた島です。島のなかに内水面があり、リング状の大屋根の内側にも水辺の空間があり、これは水都大阪を意識したものです。リング状の大屋根は場所を行き来する動線の役割を担います。リング状にしたコンセプトは世界中の文化や人々が集まる多様性をもった万博（世界）を一つのもので共有するということがカチにしました。万博テーマのワードに“いのち”がありますが、一人で生きていくことができない人間にとって繋がり合う多様性とは“いのち”そのものといえるはず。いま世界はオンラインなどで繋がってはいますが、一つの場所に半年一緒に集う万博は、インターネットが発達すればするほど価値が高まるイベントになっていくと思います。

リング状の大屋根は、これからのSDGsの時代に、鉄骨やコンクリートではなく海外でも注目されている大規模木造の可能性を追求できないかということで木造でつくることを検討しています。また、万博は人工物の祭典みたいになりがちですが、これからの時代は自然と人工物がいかに共存していくかというのが大きなテーマになると思います、あえて中央にはパビリオンではなく森をつくり、会場の象徴的な場所となることを考えています。大屋根にはあがることができ、“空”が切り取られるような景色が広がり、一つの“空”が世界を繋いでいる感覚を体感してもらえる場所になればと思います。70年大阪万博のときは、お祭り広場を覆う大屋根は、円形部分から太陽の塔の頭が出る格好でつくられましたが、これも丸く“空”が切り取られています。われわれは55年かけてこの円を大きく育てたというストーリーも考えながら、万博に来場する人々の多くがこの“空”と一緒に見上げることができればと願っています。



夢洲で開催される2025年大阪・関西万博 (c) Sou Fujimoto Architects

環境創造のシンボルとして正蓮寺川公園完成への道のり

パネリスト) 前田昌則

平成28年に此花区長になり、令和2年より北区長を務めております。現在は区長会議の会長を兼務しており、2025大阪・関西万博では24人の区長をリードするのが私の役割だと思っております。

正蓮寺川公園は此花区にある公園で、以前は綺麗な川が流れていましたが、高度成長期にドブ川に変わって環境汚染や地域の利便性に配慮した結果、当初は下水機能やトンネルで覆われた高速道路をつくる予定でした。しかし、地域の方が行政を動かして50年かけて埋め立て公園にするという計画に変更し、靱公園クラスの公園が完成する予定です。住民は環境創造のシンボルとして、桜を千本植えたいという意見が出て、資金調達には苦労しましたが私が区長の任期が終わるころには目標額が集まり、あとは着実にその植え付けをしていけばよいという段階です。この経験から私が思いますに、いったん汚れた海や川をきれいにするには相当な苦労と覚悟がいるということです。水都大阪を活性化するためこれからもさまざまな活動が行われることと思いますが、われわれ社会全員がこれを肝に銘じて事に当たることが大切だと考えます。

正蓮寺川公園（大阪市此花区）



桜の木を千本植える計画

水辺や公園などパブリック空間を活かしたまちづくり

パネリスト) 杉本容子

2005年に東横堀川での活動を始めた当時は「暗くて怖い」と言われたエリアでしたが、もともとは大阪城の外堀として掘られていて近世では中心地でした。この場所をなんとかしたいということで2006年に大阪商工会議所が「東横堀川水辺再生協議会（e-よこ会）」を発足させ、徐々に活動を広げていながら船着場・公園を活性化する実験を経て川辺のにぎわいを取り戻せる自信につながっていきました。河川空間を使うとき、公的機関との協議が難しいのですが、地域の使いたい主体と行政の間で「e-よこ会」が繋げることで実現につながっていきました。2019年に「β本町橋」を運営する一般社団法人水辺ラボを設立し使いたい人を受け入れる仕組みを備え、2021年8月28日に「β本町橋」がオープンしました。この施設は行政がつくる単なる箱ではなく、地元の人たちが主体となって運営される公共施設です。ひとりで説明すると「船着きハイブリット公民館」で、川沿いの公園や川の上での遊びも案内しますし、売店、レンタルルームもあります。キッチンや屋台の貸し出しも行っていて、小さなお店を出すこともできます。ここが、地域の人たちの出会いの窓口になって、そこから新しいことがはじまればと考えます。



2021年8月28日にβ本町橋がオープン

大阪着地型観光のリーディングカンパニーにおける水路の活用

パネリスト) 堀 感治

私たち「Wonder Group」は、関西のインバウンドに特化した着地型観光に着目し、数年にわたる観光コンテンツの開発と実証実験を経て、現在では「移動」、「観光」、「情報」、「食」、「体験」と多岐にわたるジャンルの観光事業を展開しています。水都大阪を楽しむコンテンツとしては、観光地を周遊するリバークルーズや船上でバーベキューができるクルーズパーティーがあります。また、道頓堀川沿いに観光案内とクルーズ船のチケット販売を併設したワンダーパブもオープンさせました。一度、私どものコンテンツを利用して川から大阪を眺めることをお勧めします。

現在、十三や毛馬水門の開発が進んだことによって将来は水路が広がり、淀川のような大きな川まで視野に入れられるようになってビジネスが広がると考えています。また今は夢洲まで安治川を徐行しながらしか行くことができないので、十三が開発されるとそこから淀川を使いスピーディーに行くことができますし利便性も上がると期待しています。



船上で楽しめる「ワンダークルーズパーティー」

閉会挨拶では、70周年事業や2025年の建築士会「大阪大会」の運営を担う記念行事委員会部門長の徳岡浩二理事から「医療福祉」と「ウォーターフロント」と違うテーマを、なぜ1日でやるのかというご質問いただきました。2025 大阪・関西万博のテーマは『いのち輝く未来社会のデザイン』となっており、集約するとどちらも繋がるテーマとだと思います。1日でしたが皆様のご講演を拝聴し、私自身も大変勉強になりました。『建築士の日』は建築士の社会的地位の向上が大きな目標ですが、達成するためにはやはり自己研鑽をし勉強して社会の信頼を勝ち取らなければいけないと考えます。「医療福祉」の連携と「ウォーターフロント」の活用は、万博と同様に一人ではできません。皆さんの力を合わせて藤本さんが設計されたあの大きな輪のように一つになり、2025 大阪・関西万博や建築士会「大阪大会」の行事もぜひ成功させたいと思います。また、講師の先生方をはじめ運営スタッフ皆さんのおかげで楽しいイベントにもなりました。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。」と挨拶があり、イベントを締めくくった。



閉会挨拶をする徳岡浩二 理事
(記念行事委員会部門長)

動静レポート

本会は運営、研修、事業、建築表彰、建築情報、社会貢献の6つの部門により活動しています。

会長動静

- 7/29 茨木市長面談
八尾市副市長面談
- 8/ 1 大阪府収用委員会
松原市部長面談
- 8/ 3 豊中市市長面談
- 8/ 5 全日本不動産協会大阪府本部万博
出展キックオフセレモニー
- 8/ 9 大阪府収用委員会
日本建築士会連合会近角会長協議
- 8/16 大阪府歴史的建造物委員会
- 8/17 島本町市長面談
高槻市長面談
大阪府収用委員会打合せ
- 8/19 交野市長面談
- 8/23 枚方市長面談
- 8/24 大阪府建築士事務所協会会長面談



左より山添専務理事、福岡洋一茨木市長、岡本会長、濱田副会長、神保理事



左より仙入理事、村上慶太郎八尾市副市長、岡本会長、上田副会長、山添専務理事



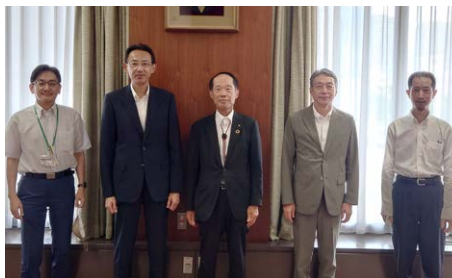
左より山本委員、岡本会長、大島久幸松原市都市整備部長、成瀬孝之松原市都市整備部まちづくり推進課長、濱田副会長



左より宮田委員、岡本会長、長内繁樹豊中市市長、上田副会長、山添専務理事



左より今井康仁島本町都市創造部都市計画課長、山田紘平島本町長、岡本会長、濱田副会長、岩崎委員



左より新井進高槻市都市創造部長、濱田剛史高槻市長、岡本会長、濱田副会長、岩崎委員



左より濱田副会長、黒田実交野市長、岡本会長、田中理事



左より小山隆枚方市副市長、伏見隆枚方市長、岡本会長、上田副会長、田中理事

第2回近畿学生住宅大賞

近畿建築士会協議会が主催し、本会が主管する第2回「近畿学生住宅大賞」の実施準備を進めています。同賞は近畿の建築系大学、高専、専門学校で住宅課題として制作した作品を応募いただき、社会性、文化性、芸術性の観点で優れたものを表彰し勉学の励みにしていただくことを目的としたものです。応募期間は9月1日～25日で、詳細は本会ホームページをご参照ください。

近畿建築祭「京都大会」

本年度の近畿建築祭は、京都府建築士会が創立70周年記念事業の一環として11月26日（土）京都府長岡京記念文化会館にて開催します。今回は新型コロナウイルス感染拡大に備え会場参加とリモート参加のハイブリット開催として準備を進めています。新型コロナウイルス感染のさらなる拡大時の対応として、リモート参加のみと決定した場合は、11月10日頃までに京都府建築士会ホームページで発表されます。

令和4年建築士学科試験の実施

本会は、7月3日に二級、7月24日に一級・木造の建築士学科試験の運営を担って実施しました。

学科試験受験者数 ()内は昨年数

| | 一級 | 二級 | 木造 |
|----|--------------------|--------------------|--------------|
| 大阪 | 2,697 (2,850) | 1,515 (1,531) | 106 (119) |
| 全国 | 30,007 (31,696) | 18,893 (19,607) | 688 (706) |

設計製図試験は、9月11日に二級建築士は「保育所（木造）」、10月9日に一級建築士は「事務所ビル」、木造建築士は「専用住宅（木造2階建て）」の各課題で実施します。

「浜街道まち歩きと歴史的まちなみの活用を考える」

日程：令和4年7月16日(土)

会場：泉大津市 浜街道および市立図書館シープラ多目的室

参加者：38名

大阪府ヘリテージマネージャー協議会では、文化庁の地域文化財総合活用推進事業の補助金により、府下を7地域に分けた歴史的建造物マップを順次作成しています。このマップは地域の文化財建造物と、歴史的なまちなみ等を掲載しています。平成31年の第2弾「堺 泉州北部・歴史的建造物マップ」の作成時に「浜街道」と出会いました。難波から急行で20分の泉大津市駅から徒歩5分程の場所に位置する「浜街道」には、江戸時代中期以降の町家建築が多数残され、虫籠窓、出格子、袖うだつや、のこぎり屋根の工場など貴重な建築様式があららこちらに見られ、歴史的建造物群と毛布発祥の地として住工が混在する一種独特な歴史的景観をかもし出すまちなみとなっています。3年前にまち歩きを企画しましたがコロナ禍で中止となり、今回漸く実現しました。

泉大津市教育委員会奥野美和様と文化財保護委員の方々のご案内で、地域の歴史を学びまちなみのすばらしさを感じながら浜街道を歩きました。普段は非公開の内部も見学させていただきました。南溟寺(なんめいじ)は戸次住職のご説明により本堂の内陣の市内最古の襖絵や市指定文化財の伯太藩主の渡辺家位牌及び厨子や渡辺家墓所を、釜野様には地域コミュニティの拠点となっている毛布工場の倉庫を活用した「のこぎりホール」とのこぎり屋根の工場、納谷様には町家の土間・つし二階、みせの間・奥座敷を案内いただきました。その後、泉大津市立図書館シープラ多目的室で立命館大学教授大場修様のご講義を拝聴しました。町家の外観や平面構成・二階部分等の時代による変遷と、漁業から織物産業への移り変わりとともに、土蔵型の工場からのこぎ

水谷清乃(ヘリテージ委員会副委員長)



り屋根の工場へ、加子(漁師)家から糸業の職人の借家への変遷を詳しく教えていただきました。毎年5月には「浜街道まつり」が開催され、地域の子どもたちも積極的にかかわり、浜街道の大切さが次世代にも継承されているようです。是非、皆様も浜街道を訪ねて、歴史的景観を楽しんで下さい。関係者の皆様、所有者の皆様のご協力とご配慮により大変貴重な体験をさせていただきました。ここにお礼申し上げます。



建築相談室から(65) 面接相談から

本会の相談室では、電話相談の他に面接相談(1回1時間55,000円・事務局にて面談)と現地相談(35,000円・現地に二人で赴く)があります。面接相談は、現地相談に比べて安価で、平日に本会まで資料を持参する必要はありますが気軽に専門家の意見を聞くことができます。2021年度はコロナ禍でもあり面談相談はコロナ前の約半分程度になっています。今回は面接相談の一部をご紹介します。

土地売買トラブル

土地の売主からの相談。売った土地に地中障害があることがわかり工事費用と遅延損害金の請求の訴訟をされた。売主の責任は一定理解するものの金額については争いたい。土地が遠方で地元の依頼している弁護士とはい関係ではない、という相談。土地トラブルということで建築士が適切にアドバイスできる案件ではないが、土地や建物

に明るい弁護士への相談は必須だと思う、という回答をしています。

建物売買のトラブル

築33年の鉄骨造の建物と土地を売却したが、検査済証・構造計算書もなく用途変更が出来ないことを理由として、買い戻しを請求された。双方に弁護士が介在しており、相手からは建築士が作成した意見書も出ている、という相談。こちらも建築相談よりも不動産売買・仲介に関する問題と思われ、検査済証や構造計算書がないことは、仲介業者が明示しておくことでもあります。用途変更の可否については購入前に買主でも確認をするべきことではないか、ということで売主の責任は大きくないとアドバイスをしています。

土地購入前の相談

これから宅地を購入するために地盤を確認してほしい。地盤調査データを持参の上相

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

談したいとのこと。土地は、元レンコン畑であり、木造3階建てで耐震等級3を取得して液状化の心配はないかとの相談だったが、杭施工計画がされており大きな心配はないと判断できたとのことでした。

次々リフォーム疑惑

リフォーム業者が訪問してきて3回にわたって契約をした。二回目の工事は終わっており三回目で消費者センターに連絡して本会に相談に来られた。一回目が外壁補修で55万円、二回目が屋根・ベランダ・床下工事で175万円、三回目が軒天塗装で約30万円。相談員が、その場で見積書をチェックしたのが問題はなさそうとの判断でした。

面接相談だからできる相談

電話相談では、建物や資料が確認できないため回答も抽象的になりがちですが、面接相談は対面で資料を見ながら適切な回答ができるので相談者の理解も得やすいです。

Information

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。

感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

令和3年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

（業務内容）
耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等
（対象建築物）
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

（会員特典）
申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

令和4年度監理技術者講習

（監理技術者以外の方も受講可能）
9/2、11/9、1/20、2/17、3/16 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日時 9/2（金）、11/9（木）、1/20（金）、2/17（金）、3/16（木） 8:55～17:00
会場 本会会議室
定員 各回20名（定員に達し次第締切）
受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015/2015-07-28-2.html>

大阪府知事指定講習

2022年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》
10/12・12/14 CPD各5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。（本講習は、国土交通大臣登録講習ではありません。）

日程 ①10/12（水）、②12/14（水）
時間 10:00～15:50
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
最寄駅 大阪メトロ「谷町四丁目」下車
定員 各40名（定員になり次第締切）
受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,300円
（2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法）

※受講料及びテキスト代金は、事前にお振込み願います。その際振込手数料もご負担願います。

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習10/27 CPD5単位
更新講習2/22 CPD2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2019年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。

▼新規講習（DVD）
日時 10/27（木） 9:30～17:00
会場 本会会議室
定員 20名（定員に達し次第締切）
受講料 WEB申込21,450円
郵送申込22,000円

▼更新講習（DVD）
日時 2/22（水） 13:30～16:50
会場 本会会議室
定員 20名（定員に達し次第締切）
受講料 WEB申込17,000円
郵送申込17,600円

▼申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も開催いたします。

令和4年度建築士定期講習

12/16、1/19、2/7、3/2 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成31年度・令和元年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義
日程・会場・定員
※2/7（火） 大阪YMCA会館 100名
▼DVD講義

日程・会場・定員

※12/16（金）大阪府建築健康会館 50名
1/19（木）大阪府建築健康会館 50名
※3/2（木）大阪府建築健康会館 50名
時間 9:15～17:00（各講習日共）
受講料 12,980円（消費税含。事前振込）
申込方法 申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。（平成31年度・令和元年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。）
ご記入後、大阪府建築士会事務局又は大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。
受付場所（送付場所）
※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

注）各回定員に達し次第、受付を終了します。
▼建築技術教育普及センターHP
<https://www.jaeic.or.jp/koshuannai/teiki-koshu/kteiki/kt-koshujisshi2021.html>

第2回近畿学生住宅大賞

募集期間9/1～9/25

近畿建築士会協議会が主催で本会が主管する「近畿学生住宅大賞」の第2回を実施します。

この賞は近畿圏内の建築系大学、高専、専門学校で住宅課題として制作した作品を応募いただき、社会性、文化性、芸術性の観点で優れたものを表彰するものです。各賞には賞状を授与、副賞付きの企業賞もあります。

応募期間 9/1～25
最終審査及び表彰式 12/3（土）
詳細は本会ホームページをご覧ください。

大阪芸術大学 アートサイエンス学科棟 見学会

9/30 CPD2単位

大阪芸術大学アートサイエンス学科は妹島和世氏設計の建築です。この3次曲線の建築をいかに施工したかという観点で、施工者に施工のポイントについて解説していただきます。ぜひご参加ください。

日時 9/30（金） 11:40～13:50
会場 大阪芸術大学 アートサイエンス学科棟
受講料 建築士会会員2,500円
後援団体会員3,500円
一般4,500円

大阪府ヘリテージマネージャー協議会
湯浅町・広川町

湯浅町重要伝統的建造物群保存地区と広川町の見学会

10/1 CPD4単位（予定）

紀和歌山県湯浅町と広川町は、隣接する町でありながら、異なるストーリーで日本遺

産認定を受けています。湯浅町は『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』のストーリーで、広川町は『「百年の安堵」～津波と復興の記憶が生きたる広川の防災遺産～』のストーリーで、それぞれ認定を受けています。また湯浅町は、和歌山県唯一の伝統的建造物群保存地区であり、醸造業関連の町家や土蔵など近世から近代にかけての伝統的な建造物がよく残されています。

※当日は、7～8kmを歩く予定です。
※普段は拝見できない歴史的建造物の町家などの内部の見学が予定されています。
※湯浅町まち歩きご案内（予定）：（公社）和歌山県建築士会

日程 10/1（土）
10:40 現地集合
10:45～12:30 広川町まち歩き
12:30～13:15 昼食休憩
13:15～16:45 湯浅町まち歩き
集合場所 JR湯浅駅改札前
参加費 4,000円（1,500円昼食付、交通費別）
定員 20名（申込先着順）
申込締切 9/20（火）
交通案内はイベントチラシ参照

補助金利用のお得なツアーです

「TOSAZAI ツアー in高知・梶原」
10/27～28 CPD5単位（予定）

高知県では住宅用建築材に「土佐の木」を使用していただける方々を木の故郷の山々にお招きし、実際に森を見て確認していただく「土佐材産地セミナー・産地見学ツアー」を行っています。

初日は高橋晶子氏+高橋寛氏設計の坂本龍馬記念館、竜馬木材市場、内藤廣氏設計（土佐材を使った大スパン建築物）の牧野富太郎植物園・記念館、JR高知駅を見学し、翌日は土佐材の研修、製材を見学し、梶原町の隈研吾氏設計建築物（土佐材を使った大スパン建築物）ほかを見学します。

●参加対象
・土佐材を使ってくださる建築関係の方
・土佐材の流通拡大に携わっていただける方
・上記の方が随伴されるお施主様

※土佐材流通促進協議会では、参加される方に費用の一部を補助することができます。（同協議会パンフレットより）

日時 10/27（木）7:30～28（金）19:30
場所 高知県高知市、梶原町
費用 会員30,000円 一般33,000円
定員 25名

茶室見学とお点前体験

～さかい利晶の杜～
11/12 CPD3単位（予定）

茶室シリーズ第2弾
千利休生誕の地「堺」で復元された茶室見学、茶道三千家指導のもとお点前体験を通して、茶の文化に親しんでいただきます。

日時 11/12（土） 13:00～16:00
会場 さかい利晶の杜
参加費 会員2,000円、会員外2,500円

INFORMATIONの詳細は本会ホームページに掲載しています。本会の事業はホームページから申込できます。
【大阪府建築士会】大阪府中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 <http://www.aba-osakafu.or.jp/>
メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

(展示観覧料・茶室見学・お点前体験費用含む)
定員 30名

建築相談委員会
住宅を設計する仲間達分科会企画勉強会
魅力ある建築士事務所の
Webデザインとは
9/15 CPD2単位

大阪・熊取町を拠点にWebをはじめ、あらゆるデザイン分野で活躍する(株)スピカートの細尾正行氏をお迎えし、昨今の建築業界におけるWebサイトの傾向を知り、SNSとの連携やブランディングに至るまで、その活用法を理解し建築と建築士事務所について消費者への魅力と情報発信に役立つ為、知っているようで知らないWebデザインのあれこれをお話いただく企画です。また今回の講師は建築関連事務所や企業のデザイン実績も豊富ですので、自社のホームページについて新規製作や改定を検討中の方や、上手くホームページを活用できておらずにお困りの方などにも良いヒントに出会う機会になるかと思えます。お気軽にご参加ください。

日時 9/15(木) 18:30~20:00
会場 本会会議室
講師 (株)スピカート代表取締役
細尾正行
参加費 会員1,000円 会員外1,500円
定員 25名(定員に達し次第締切)

建築士・市民にとって
「団地」から考える建築・まちづくり
9/26 CPD2単位(予定)

住宅文化をリードし、景観やまちを形成してきた団地やその取組について勉強し、まちづくりの担い手としての建築士、市民の方にとって、今後の建築・まちづくりを考えます。
日程 9/26(月)
時間 18:30~20:00(受付18:15)
会場 大阪府建築士会会議室
参加費 500円(学生無料)
定員 30名(申込先着順)
詳細はチラシ参照
申込締切 9/21(水)

第65回大阪建築コンクール
受賞者講演会+トークセッション
10/7 CPD2単位(予定)

大阪建築コンクールは、建築士と社会との関わりを通じて建築作品を評価し、そのすぐれた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。第65回を迎えた今回、大阪府知事賞および渡辺節賞の受賞者による講演会と審査委員とのトークセッションを企画しました。受賞作品についてはもちろん、建築に対するそれぞれの思いを語っていただきます。また、受賞作品のパネル展示も行います。

日時 10/7(金) 18:30~20:40
会場 大阪工業大学梅田キャンパス203
大阪市北区茶屋町1-45
参加費 無料(申込不要)

第8回 国際茶楼 JICA関西訪問
Vol.2
「いま我々にできること~海外に目を向けて」
10/29 CPD2単位(予定)

日本は今や国内のみを見ては経済活動・技術発展や向上、人的ネットワークの構築等は考えられない状況です。また組織においても高齢化が進み、人的活用として海外に目を向けることは重要です。このような時にJICAの活動に目を向け我々の取組めることを改めて考えればと思います。
プログラム: 昼食・展示見学
: 講演1 JICAについて
: 講演2 ネパール地震後の現状報告他
: 人と未来防災センター見学(自由参加)

☆JICA関西食堂で大好評の日替りエスニック料理等を楽しみましょう。
日時 10/29(土) 12:00~15:00
集合場所 JR灘駅 11:45
会場 JICA関西と周辺
定員 25名(申込先着順)
参加費 会員3,000円 会員外3,500円
(JICA関西食堂昼食代含)
学生・大阪府建築士会新入会員
(2020年度以降入会) 無料
(昼食代は実費)
懇親会 場所: 三宮
会費: 4,000円(予定)
(コロナ禍により中止する場合があります。)

行政からのお知らせ

EV充電設備の導入を支援する補助金のご案内

大阪府では「電気自動車用充電設備導入支援補助金」の募集を開始しました。本事業は、大阪府民が利用する駐車場に充電設備の設置を促すことにより、電気自動車(EV)等を利用しやすい環境を整えて普及を促進することで、自動車から排出される二酸化炭素の削減を目指しています。
■補助対象となる充電設備
経済産業省「クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金」に基づくものうち、「商業施設及び宿泊施設等への充電設備設置事業(目的地充電)」の交付決定を受けたもの
※府補助額は、充電設備購入費に係る国補助額の二分の一です。
※工事費は府補助金の補助対象外ですが、

国補助金で対象となります。
■補助対象となる施設の例
商業施設・宿泊施設・遊戯施設・観光施設・公共施設・飲食施設の利用者が使用する駐車場、時間貸し駐車場(個人宅や従業員専用駐車場等、特定の利用者しか利用できない駐車場は対象外です)
■申請受付期間 11/11(金)まで
■詳細は、下記URLにてご確認ください。
URL:<https://www.pref.osaka.lg.jp/enese/isaku/juuden/>

その他のお知らせ

ブリザーブドフラワーワークショップ
10/2

今年度、大阪地域貢献活動事業助成の対象となったPark Lab.(パークラボ)のワークショップです。公園お掃除のあと、ブリザーブドフラワーのワークショップを開催します。
日時 10/2(日) 10:00~12:00
会場 新阿波座公園
大阪市西区阿波座1-8
講師 鐘築晴子
定員 20名
参加費 100円
申込 <https://www.facebook.com/ParkLab.2014>

被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会

10/21、12/19、2/14 CPD各3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う大阪府被災建築物応急危険度判定士を養成する講習会です。
日程 10/21(金)、12/19(月)、2/14(火)
時間 受付12:30~、講習13:10~17:00
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
定員 各回80~150名
(新型コロナウイルス感染状況により調整)

受講資格 大阪府内在住または在勤の一級建築士、二級建築士、木造建築士並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員
受講料 無料
テキスト代 1,600円(税込)
申込・問合せ 一般財団法人大阪建築防災センター企画耐震部
Tel.06-6942-0190

特別展「ドレスデン国立古典絵画館所蔵 フェルメールと17世紀オランダ絵画展」
(大阪市立美術館)7/16~9/25

17世紀のオランダ絵画の巨匠ヨハネス・フェルメールの《窓辺で手紙を読む女》は、窓から差し込む光の表現、室内で手紙を読む女性像など、フェルメールが自身のスタイルを確立したといわれる初期の傑作です。本作品は、1979年のX線調査で壁面にキュービッドが描かれた画の中画が塗り潰されていることが判明し、長年、その絵はフェルメール自身が消したと考えられてきました。しかし、その画の中画はフェルメールの死後、何者かにより消されていたという最新の調査結果が、2019年に発表されました。本展では、大規模な修復プロジェクトによってキュービッドの画の中画が現れ、フェルメールが描いた当初の姿となった《窓辺で手紙を読む女》を、所蔵館であるドレスデン国立古典絵画館でのお披露目に次いで公開します。(東京、北海道、大阪、宮城を巡回。)所蔵館以外での公開は、世界初となります。加えて、同館が所蔵するレンブラント・ファン・レイン、ハブリエル・メッー、ヤーコブ・ファン・ライスターなどオランダ絵画の黄金期を彩る珠玉の名品約70点も展示します。
会場 大阪市立美術館
大阪市天王寺区茶臼山町1-82
(天王寺公園内)
会期 7/16(土)~9/25(日)
時間 9:30~17:00(入館16:30まで)
(9/3、10、17、23、24は9:30~19:00
入館は18:30まで)
休館日 月曜(9/19は開館)
観覧料 一般2,100円 土日祝は予約優先制
(9/20、21、22を含む)
問合せ 大阪市総合コールセンター
ならわコール Tel.06-4301-7285



ヨハネス・フェルメール《窓辺で手紙を読む女》(修復後)1657-59年頃 ドレスデン国立古典絵画館 © Gemäldegalerie Alte Meister, Staatliche Kunstsammlungen Dresden, Photo by Wolfgang Kreishe

委員会活動予定

| 研修部門 | CPD | 実施日 | 定員 |
|--|---------|-------------|-------|
| 研修委員会(設計・設備・法令担当) | | | |
| 研修委員会(構造・施工担当) | | | |
| 大阪芸術大学 アートサイエンス学科棟見学会 | 2 | 9/30 | 40 |
| 既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》第1回、第2回 | 各5 | 10/12、12/14 | 各40 |
| 受託講習 | | | |
| 令和4年度建築士定期講習(対面講習) 第5回 | 各6 | 9/15 | 50 |
| 令和4年度建築士定期講習(対面講習) 第6回、第10回 | 各6 | 10/20、2/7 | 100 |
| 令和4年度建築士定期講習(DVD講義) 第7回～第9回、第11回 | 各6 | 11/18～3/2 | 50 |
| 監理技術者講習 第4回～第8回 | 各6 | 9/2～3/16 | 各20 |
| 事業部門 | CPD | 実施日 | 定員 |
| 女性委員会 | | | |
| 茶室について学ぶ～近世数寄空間と煎茶室～ | 2 | 9/3 | 40 |
| 茶室見学とお点前体験 | 2 | 11/12 | 30 |
| 中嶋節子先生と巡る 京都東山別荘「對龍山荘」 | | 12/5 | 30 |
| シニアサロン | | | |
| 神戸八社めぐり | | 11/5 | |
| 賛助会員委員会 | | | |
| TOSAZAIツアーin高知・梶原(ゆすはら) | | 10/27・28 | 25 |
| 国際委員会 | | | |
| 第8回 JICA関西訪問Vol.2「いま我々にできること～海外に目を向けて」 | 2 | 10/29 | 25 |
| 建築表彰部門 | CPD | 実施日 | 定員 |
| 第2回近畿(学生)住宅大賞の実施(主管) | | 9/1～9/25 | |
| 第65回大阪建築コンクール受賞者講演会+トークセッション | 2(予定) | 10/7 | 80 |
| 社会貢献部門 | CPD | 実施日 | 定員 |
| 耐震インスペクション委員会 | | | |
| 耐震診断 | | | |
| 既存木造住宅の耐震診断 (防災センター、大阪市等経由) (東大阪市) | | | |
| 大阪府ブロック塀耐震診断 | | | |
| 住まい情報センター セミナー「住まいの耐震」 | | 9/17 | |
| 大阪市耐震改修支援機構 出前講座 | | | |
| インスペクション | | | |
| 既存住宅状況調査 | | | |
| 既存住宅状況調査技術者講習(対面講習) | 新規5、更新2 | 5/26～2/22 | 各回20 |
| 既存住宅状況調査技術者講習(WEB講習) | 新規5、更新2 | 4/1～10/15 | 各回で設定 |
| 建築相談委員会 | | | |
| 建築相談活動(電話月～金(13:00～16:00)・面接・現地) | | | |
| パネル展「耐震改修」 | | 9/1～9/30 | |
| セミナー「住まいのリフォーム編」 | | 10/30 | |
| パネル展「リフォーム」 | | 10/1～10/31 | |
| セミナー「魅力ある建築士事務所のWebデザインとは」 | 2 | 9/15 | 25 |
| 地域まちづくり委員会 | | | |
| まちづくり分科会 | | | |
| 建築士・市民にとって「団地」から考える建築・まちづくり | 2 | 9/26 | 30 |
| ヘリテージ委員会 | | | |
| 湯浅町重要伝統的建造物群保存地区と広川町の見学会 | 4(予定) | 10/1 | 20 |

2022年 「建築人」作品募集



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業
日経BP社入社「日経アーキテクチュア」編集部勤務(～1999年)
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年 フリックスタジオ共同主宰(～2020年)
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰

Gallery 掲載要項

Galleryとは…

公益社団法人大阪府建築士会は、会誌『建築人』を会員サービスの一環として毎月発行しています。発行部数は約3,000部で会員のほか、官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。この『建築人』では、毎号「Gallery」というコーナーを設けており、皆様の建築作品を掲載しております。皆様の作品を本誌へ掲載しませんか？

掲載作品は、同時に『建築人賞』候補に！ 『建築人賞』とは

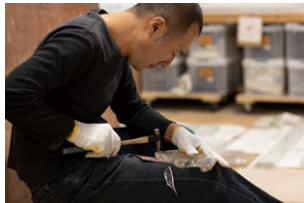
Gallery掲載作品は自動的に大阪府建築士会が毎年表彰している『建築人賞』の候補となります。(毎年1月号～12月号掲載作品)

『建築人賞』は、これまで13回を数える賞で、個人の審査委員長により選考します。2022年は昨年に引き続き、建築ジャーナリストの磯 達雄さんをお願いしています。

賞には、「建築人賞」「建築人奨励賞」「建築人賞佳作」「建築人新人賞」があり、建築主、設計者、施工者に賞状が贈られます。さらに『建築人賞』の設計者の方には、記念品が授与されます。表彰は、5月(予定)に行われる建築士会の年次総会で表彰式を挙行しており、受賞される建築主、設計者、施工者の方に参加していただいております。



記念盾 グラスアーティスト 佐久間 靖 作 (左：建築人賞 右：建築人新人賞)



佐久間 靖

1971年 大阪府高槻市生まれ
1996年 神戸学院大学 法学部 卒業
1997年 株式会社 ロクレーブルプロダクションガラスアーティスト 三浦啓子氏に師事
2016年 株式会社 Jiku Art Creation 作品制作に従事

■ 掲載費用

100,000円(1頁カラー)

*①：初回割引 80,000円

(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

*②：若手初回割引 50,000円

(40歳以下で建築設計事務所を主宰されている方で*①を満たす方)

■ 掲載概要

建築主、設計者、施工者、協力会社、
所在地、用途、竣工年、構造規模、
敷地面積、建築面積、延べ床面積

■ 掲載記事内容

写真4点程度
説明文章：約300字程度

自然との調和を求めた環境造形の行方

埼玉県立博物館 一九七一年

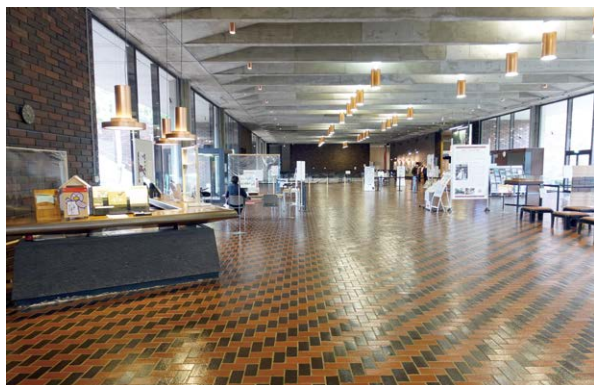
文・写真 松隈洋 [京都工芸繊維大学教授]

二〇二一年十二月中旬、二十二年ぶりになるだろうか、緑深い木々に囲まれた埼玉県さいたま市の大宮公園の一角に建つ埼玉県立博物館を訪れる機会があった。一九七一年の竣工から半世紀が経つ前川國男（一九〇五〜八六年）の作風の転機となった晩年の代表作であり、現在の姿を見ておきたいと思ったからだ。この日は時間も限られていたので、最寄り駅の東武野田線の大宮公園駅から徒歩五分の近道を選んだが、

本来は、JR大宮駅の東口で下車し、



中庭から見る正面玄関



五〇周年展開催中のエントランス・ロビー

駅前の国道から氷川神社へと伸びる約九百mのケヤキ並木の参道が所要時間四〇分の正規のアプローチとなる。大宮公園は、一八八五年、埼玉県初の県立公園として開設され、現在の広さは約六八haにも及ぶ。もともとは、「大いなる宮居」と称えられ、地名「大宮」の由来ともなった二千四百年前の創建とされる氷川神社の境内の一部を国有化して誕生したのだという。当初は氷川公園と呼ばれ、一九二一年に、日比谷公園や明治神宮などを手がけ、「日

本の外観が見えてくる。

この建物は、明治政府が一八七一年に行つた廃藩置県による埼玉県誕生から百年を記念する事業として計画され、一九七一年、埼玉県の歴史と美術を中心に扱う総合博物館として誕生する。その後、一九八二年に、黒川紀章（一九三四〜二〇〇七年）の設計で、埼玉県立近代美術館が隣接する浦和区の旧制・浦和高校の跡地に開館したことを契機に、歴史系の博物館へと全面的に衣替えされ、二〇〇六年からは、「埼玉県立歴史と民俗の博物館」と改称されて現在へと至る。敷地面積約一万三千m²の中に延床面積約一万一千m²の堂々たる規模の建築ながら、全体の四割は地下に埋められ、地上三階建てで、高さは極力抑えられている。

敷地南西角の入口から奥まった場所にある正面玄関まで、茶褐色の珪器質タイルに覆われた複数の展示室棟に囲まれた中庭を、大樹の間を縫うようにして進んでいくと、コンクリート打放しの骨太な柱とジョイスト梁の大架構による全面ガラス張りのエントランス・ロビーが現われる。梁下の高さ四・八m、広さ約二二〇〇m²の、内外を大らかにつなぐ建物全体の要となる圧倒的な大空間だ。そして、そこから展示室が枝分かれして敷地全体に手を広げるように、リズムカルに配置されて伸びていく。また、地階の吹抜けの展示ホールに自然光を導くサンクン・ガーデンや、同じく地階に配置された講堂の上に載る中二階の食堂と外部テラスなど、空間のアクセントとなる工夫も施されている。こうして、簡素で力強く、寡黙な雰囲気に含まれた空間に、ゆったりとした時間だけが流れている。残念なことに、竣工当初は、門扉と切符売場が設置され、中庭も有料で開放されていなかった。しかし、前川の希望が通じたのか、亡くなる前年の一九八五年四月に、中庭からエントランス・ロビーまでが無料開放される。そして、二〇一七年三月に南門が設置されて、周囲の森からも自由にアプローチできるようになった。おりしも、エントランス・ロビーでは、開館五〇周年を記念して、打込みタイルの現物や模型、写真パネルによる小展示が行われていた。それにしても、一〇年前の東京文化会館とはあまりにも異なる、この控え目な建築デザインは、どのような発想から生み出されたのだろうか。竣工パンフレットに寄せた「設計者のことば」に、前川は、次のような言葉を書き留めていた。

「現代は悲しい時代である。新奇なものをつくることに憂鬱をやつすばかりで、よりよいものをつくらうとしな

「現代は悲しい時代である。新奇なものをつくることに憂鬱をやつすばかりで、よりよいものをつくらうとしな

い。」と嘆いた詩人がありました。現代は「使い捨ての時代」であるとい

光と水のEconology

Pure Coat®

ずっと美しく、もっと美しく。

コンクリート打ち放しは美しい。

その洗練された質感を保ち続けること。

長年にわたり積み重ねてきた

光触媒とフッ素樹脂の技術が、

新築には、美しさをそのままに。

改修では、美しさを蘇らせます。

ずっと美しく、 もっと美しく。

ピアレックスのRC工法で、

心地よい暮らしを、

モダンな景観を、

ずっと、もっと。

“メーカー”の枠を超えた高度な施工。

改修▷G-PFシステム® | 打ち放しコンクリート調描画工法光触媒コート仕上げ
老朽化した打ち放しコンクリート外壁を新築同様に再生。長年培った汎用性フッ素樹脂の技術を応用し、これまでほぼ不可能とされてきた技術を実現しました。

新築▷N-RCシステム | フッ素樹脂光触媒クリアー仕上げ
独自の外壁コーティング材「ピュアコート」®を使用し、コンクリートの風合いをそのままに濡れ肌を防止し、その美観を長期間維持します。

※「ピュアコート」®・「G-PFシステム」®は株式会社ピアレックス・テクノロジーズの登録商標です。

株式会社ピアレックス・テクノロジーズ

[本 社] 〒595-0016 大阪府泉大津市条南町4-14
Tel:0725-22-5361 / Fax:0725-22-5363

[東京営業所] 〒111-0042 東京都台東区寿3-14-11
蔵前チヨダビル7階
Tel:03-5830-0055 / Fax:03-5830-0056

[中部営業所] 〒509-5301 岐阜県土岐市妻木町1674-1
Tel:0572-58-3166 / Fax:0572-58-3167

www.pialex.co.jp

 **PIALEX TECHNOLOGIES**



中央部の復元エリアを囲む鏡面天井の売場空間_現代的な賑わいの意匠による新旧の対比 *1



旧本館の象徴「孔雀のレリーフ」_採取したテラコッタを補強・再利用し、心齋橋筋側の中央玄関に復元 *1